



## 2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月14日

上場取引所 東

上場会社名 高砂香料工業株式会社  
 コード番号 4914 URL <https://www.takasago.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 榊村 聡  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 笠松 弘典 (TEL) 03-5744-0523  
 定時株主総会開催予定日 2020年6月24日 配当支払開始予定日 2020年6月25日  
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月24日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期の連結業績 (2019年4月1日～2020年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	152,455	1.3	2,660	△54.4	2,854	△57.8	3,408	△28.6
2019年3月期	150,516	6.3	5,837	△8.2	6,764	0.7	4,772	△31.8
(注) 包括利益	2020年3月期		△972百万円( -%)		2019年3月期		128百万円(△99.0%)	

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	173.49	—	3.6	1.5	1.7
2019年3月期	241.67	—	4.9	3.6	3.9

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 177百万円 2019年3月期 355百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	182,829	94,775	51.1	4,768.14
2019年3月期	186,214	97,396	51.5	4,859.83

(参考) 自己資本 2020年3月期 93,476百万円 2019年3月期 95,977百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	1,190	△6,288	157	9,266
2019年3月期	6,113	△5,816	△2,180	14,312

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	20.00	—	30.00	50.00	987	20.7	1.0
2020年3月期	—	25.00	—	40.00	65.00	1,274	37.5	1.4
2021年3月期(予想)	—	25.00	—	25.00	50.00		27.3	

(注) 2020年3月期 期末配当金の内訳 普通配当 25円00銭、記念配当 15円00銭

### 3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	153,500	0.7	3,300	24.0	3,500	22.6	3,600	5.6	183.24

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無  
② ①以外の会計方針の変更：無  
③ 会計上の見積りの変更：無  
④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数

2020年3月期	20,152,397株	2019年3月期	20,152,397株
2020年3月期	548,073株	2019年3月期	403,381株
2020年3月期	19,646,893株	2019年3月期	19,746,156株

(参考) 個別業績の概要

2020年3月期の個別業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	64,288	△1.8	△553	—	957	△71.5	2,302	△33.4
2019年3月期	65,499	4.0	1,769	△7.8	3,357	△3.8	3,455	8.7

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	117.18	—
2019年3月期	175.00	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2020年3月期	128,049		67,034		52.4	3,419.39		
2019年3月期	133,730		69,407		51.9	3,514.48		

(参考) 自己資本 2020年3月期 67,034百万円 2019年3月期 69,407百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

当社は、2020年5月に機関投資家及びアナリスト向け決算説明会の開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より、電話会議システムを使用した機関投資家及びアナリスト向け決算説明会（電話会議）を2020年6月3日（水）に開催する予定です。この説明会で使用する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報)	12
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14
4. その他	15

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益や設備投資は底堅く推移し、個人消費についても、雇用・所得環境の着実な改善を背景に、緩やかな回復基調で推移いたしました。世界経済も、総じて見れば着実な成長が続いておりましたが、当年度終盤に発生した新型コロナウイルス感染症の拡大により、国内外の経済活動が大きく抑制される状況となりました。今後の内外経済の見通しにつきましては、米国の保護主義政策に起因する通商問題や英国のEU離脱問題、中国経済の減速や原油価格の動向などに加え、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、不透明感がますます高まってきております。

香料業界においては、競合他社との競争環境は一段と厳しさを増しておりますが、市場としては、中国や東南アジアでの成長が引き続き期待できる一方、成熟市場である欧米でも底堅い成長が見込まれます。

このような中、当社グループは「地球環境に配慮し、地域社会を大切にしたい、世界の人々から共感を得られる企業を目指す」、「信頼される商品を供給し続けることにより、グローバル市場でのトップクラスの香料会社を目指す」の経営基本方針の下、創業100周年を迎える2020年に向けて飛躍的な成長を目指し、当社グループの有する全ての力を集結し、グループ一丸となって中期経営計画『TAKASAGO GLOBAL PLAN (One-T)』(2018-2020年度)に取り組んでまいりました。

当連結会計年度の売上高は、前期比1.3%増の152,455百万円となりました。部門別売上高では、フレーバー部門は、シンガポール子会社において飲料向け等が好調に推移した他、当社及び国内子会社においてコーヒー関連製品等が堅調に推移し、前期比1.3%増の91,850百万円、フレグランス部門は、米国子会社において芳香剤向け等が好調に推移し、前期比4.1%増の40,740百万円、アロマイングリディエント部門は、当社における在庫調整等の影響により、主力品メントールが低調に推移し、前期比5.1%減の12,145百万円、ファインケミカル部門は、医薬品中間体において一部得意先の在庫調整の影響が続いたこと等により、前期比3.0%減の6,274百万円となりました。その他不動産部門は、前期比0.1%増の1,444百万円となりました。

利益面では、営業利益は前期比54.4%減の2,660百万円、経常利益は前期比57.8%減の2,854百万円となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比28.6%減の3,408百万円となりました。

セグメントにつきましては、日本は、国内子会社が堅調に推移したことにより、売上高は68,916百万円(前期比1.8%増)となったものの、当社における原料高騰の影響等により、営業損失は22百万円(前期は営業利益2,549百万円)となりました。米州は、米国子会社においてファインケミカル部門が一部得意先の在庫調整の影響を受け、販売が伸び悩んだことにより、売上高は32,705百万円(前期比0.6%減)となりました。一方、主幹事業であるフレグランス部門等の利益が改善したことにより、営業利益は364百万円(前期は営業損失94百万円)となりました。欧州は、フランス子会社及びドイツ子会社が好調に推移したものの、為替変動の影響を受け、売上高は25,319百万円(前期比0.5%減)となりました。また、フランス子会社における原料高騰が響いた他、ドイツ子会社の事業基盤強化に伴うコスト増等により、営業利益は913百万円(前期比45.6%減)となりました。アジアは、シンガポール子会社等においてフレーバー部門が好調に推移し、売上高は25,513百万円(前期比4.2%増)となったものの、フレグランス部門における原料高騰が響いて、営業利益は1,363百万円(前期比3.0%減)となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

総資産は、前連結会計年度末と比較して3,385百万円減少し、182,829百万円となりました。主なものは、現金及び預金の減少5,046百万円、投資有価証券の減少4,247百万円、商品及び製品の増加2,680百万円、受取手形及び売掛金の増加1,618百万円であります。

負債は、前連結会計年度末と比較して764百万円減少し、88,053百万円となりました。主なものは、長期借入金の減少2,274百万円、支払手形及び買掛金の減少1,853百万円、短期借入金の増加3,944百万円であります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して2,621百万円減少し、94,775百万円となりました。主なものは、その他有価証券評価差額金の減少3,253百万円、為替換算調整勘定の減少885百万円、退職給付に係る調整累計額の減少269百万円、利益剰余金の増加2,325百万円であります。

以上により、自己資本比率は51.5%から51.1%に減少いたしました。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より5,046百万円減少し、9,266百万円となりました。

営業活動による資金の増加は、1,190百万円となりました。主なものは、税金等調整前当期純利益4,575百万円、減価償却費6,495百万円、たな卸資産の増加2,569百万円、法人税等の支払額2,500百万円であります。

投資活動による資金の流出は、6,288百万円となりました。主なものは、有形固定資産の取得による支出6,739百万円であります。

財務活動による資金の増加は、157百万円となりました。主なものは、長期借入れによる収入5,426百万円、短期借入金の増加4,092百万円、長期借入金の返済による支出7,009百万円であります。

### (4) 今後の見通し

当社グループは、2018年度より中期経営計画『TAKASAGO GLOBAL PLAN (One-T)』（2018-2020年度）に取り組んでおります。「顧客満足度向上」、「事業成長戦略推進」、「技術革新」、「利益体質改善」、「人材開発」の5つのグループ基本方針の中心に「コーポレート」という概念を据えて、グローバル企業として必要な基準、仕組みを統一、整備し、ガバナンスの強化、グローバル機能の向上に努めてまいります。これらの基本方針を通じ、グローバル市場でのトップクラスの香料会社を目指してまいります。

上記施策及び原料価格の落ち着き等により、2021年3月期の連結業績予想は、売上高153,500百万円（前期比0.7%増）、営業利益3,300百万円（前期比24.0%増）、経常利益3,500百万円（前期比22.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益3,600百万円（前期比5.6%増）としております。

世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により世界経済全体の成長が大きく落ち込むと見られており、わが国経済についてもその影響を受け、景気後退局面に入ると懸念されております。このような中、当社グループにおきましては、一部のカテゴリーに影響がでる可能性があり、また、今後のサプライチェーンがどのようになるかといった懸念材料もありますが、当社グループの主力である食品香料や日用品向けの香料については、生活必需品関連ということで堅調に推移すると見込んでおります。

なお、上記の連結業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、今後様々な要因によって予想と異なる可能性があります。修正が必要となりました場合には速やかにお知らせいたします。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性を考慮し、当面は日本基準を採用することとしておりますが、今後の外国人株主比率の推移及び国内他社のIFRS（国際財務報告基準）採用動向を踏まえつつ、IFRS適用の検討をすすめていく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,312	9,266
受取手形及び売掛金	34,183	35,801
商品及び製品	22,376	25,056
仕掛品	142	178
原材料及び貯蔵品	16,363	15,840
その他	7,150	5,015
貸倒引当金	△215	△201
流動資産合計	94,314	90,958
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	69,971	71,093
減価償却累計額	△39,144	△40,029
建物及び構築物(純額)	30,826	31,064
機械装置及び運搬具	64,753	63,541
減価償却累計額	△51,416	△50,736
機械装置及び運搬具(純額)	13,337	12,805
工具、器具及び備品	13,121	13,688
減価償却累計額	△10,321	△10,839
工具、器具及び備品(純額)	2,800	2,849
土地	7,578	7,943
建設仮勘定	1,741	2,266
その他	—	1,240
減価償却累計額	—	△254
その他(純額)	—	985
有形固定資産合計	56,283	57,914
無形固定資産	1,128	1,307
投資その他の資産		
投資有価証券	30,334	26,087
出資金	319	279
長期貸付金	—	2,859
退職給付に係る資産	688	383
繰延税金資産	2,014	1,951
その他	1,524	1,468
貸倒引当金	△395	△381
投資その他の資産合計	34,486	32,648
固定資産合計	91,899	91,870
資産合計	186,214	182,829

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,488	13,635
短期借入金	19,142	23,087
1年内返済予定の長期借入金	6,878	7,521
1年内償還予定の社債	340	360
未払法人税等	1,488	480
賞与引当金	1,828	1,888
役員賞与引当金	27	24
その他	7,749	8,449
流動負債合計	52,945	55,448
固定負債		
社債	760	400
長期借入金	21,252	18,977
繰延税金負債	4,408	2,654
役員退職慰労引当金	5	8
退職給付に係る負債	8,580	9,012
その他	866	1,553
固定負債合計	35,872	32,605
負債合計	88,817	88,053
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	9,248	9,248
資本剰余金	8,378	8,383
利益剰余金	66,680	69,006
自己株式	△903	△1,330
株主資本合計	83,403	85,308
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,956	12,703
繰延ヘッジ損益	—	2
為替換算調整勘定	△2,638	△3,524
退職給付に係る調整累計額	△744	△1,014
その他の包括利益累計額合計	12,573	8,167
非支配株主持分	1,419	1,299
純資産合計	97,396	94,775
負債純資産合計	186,214	182,829

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	150,516	152,455
売上原価	104,786	109,838
売上総利益	45,730	42,617
販売費及び一般管理費	39,892	39,956
営業利益	5,837	2,660
営業外収益		
受取利息	155	124
受取配当金	448	461
持分法による投資利益	355	177
為替差益	197	—
受取補償金	43	142
その他	514	394
営業外収益合計	1,716	1,300
営業外費用		
支払利息	578	570
為替差損	—	260
その他	211	275
営業外費用合計	789	1,106
経常利益	6,764	2,854
特別利益		
固定資産売却益	9	7
投資有価証券売却益	1,143	1,775
受取保険金	—	189
特別利益合計	1,152	1,971
特別損失		
固定資産処分損	158	216
減損損失	916	34
特別損失合計	1,075	251
税金等調整前当期純利益	6,842	4,575
法人税、住民税及び事業税	2,149	1,276
法人税等調整額	△138	△173
法人税等合計	2,011	1,102
当期純利益	4,830	3,472
非支配株主に帰属する当期純利益	58	63
親会社株主に帰属する当期純利益	4,772	3,408



## 連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	4,830	3,472
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,449	△3,254
繰延ヘッジ損益	0	2
為替換算調整勘定	△2,063	△913
退職給付に係る調整額	△1,123	△264
持分法適用会社に対する持分相当額	△67	△14
その他の包括利益合計	△4,702	△4,444
包括利益	128	△972
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	161	△997
非支配株主に係る包括利益	△32	24

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	9,248	8,368	62,994	△921	79,690
当期変動額					
剰余金の配当			△1,085		△1,085
親会社株主に帰属する 当期純利益			4,772		4,772
自己株式の取得				△2	△2
自己株式の処分		9		19	29
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動					—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	9	3,686	17	3,713
当期末残高	9,248	8,378	66,680	△903	83,403

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整 勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計		
当期首残高	17,406	△0	△595	373	17,184	1,528	98,402
当期変動額							
剰余金の配当							△1,085
親会社株主に帰属する 当期純利益							4,772
自己株式の取得							△2
自己株式の処分							29
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動							—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△1,449	0	△2,043	△1,117	△4,610	△108	△4,719
当期変動額合計	△1,449	0	△2,043	△1,117	△4,610	△108	△1,006
当期末残高	15,956	—	△2,638	△744	12,573	1,419	97,396

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	9,248	8,378	66,680	△903	83,403
当期変動額					
剰余金の配当			△1,082		△1,082
親会社株主に帰属する 当期純利益			3,408		3,408
自己株式の取得				△451	△451
自己株式の処分		4		25	29
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動		1			1
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	－	5	2,325	△426	1,905
当期末残高	9,248	8,383	69,006	△1,330	85,308

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整 勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計		
当期首残高	15,956	－	△2,638	△744	12,573	1,419	97,396
当期変動額							
剰余金の配当							△1,082
親会社株主に帰属する 当期純利益							3,408
自己株式の取得							△451
自己株式の処分							29
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動							1
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△3,253	2	△885	△269	△4,405	△120	△4,526
当期変動額合計	△3,253	2	△885	△269	△4,405	△120	△2,621
当期末残高	12,703	2	△3,524	△1,014	8,167	1,299	94,775

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	6,842	4,575
減価償却費	6,196	6,495
減損損失	916	34
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△13	△11
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	327	543
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△205	△181
受取利息及び受取配当金	△604	△586
支払利息	578	570
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1,143	△1,775
固定資産処分損益 (△は益)	149	209
受取保険金	—	△189
売上債権の増減額 (△は増加)	△438	△1,789
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△4,428	△2,569
仕入債務の増減額 (△は減少)	487	△1,813
その他	△1,081	△167
小計	7,583	3,347
利息及び配当金の受取額	617	612
利息の支払額	△580	△558
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△1,805	△2,500
補助金の受取額	300	100
保険金の受取額	—	189
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,113	1,190
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△4,653	△6,739
有形固定資産の売却による収入	17	14
無形固定資産の取得による支出	△442	△618
投資有価証券の取得による支出	△26	△385
投資有価証券の売却による収入	1,199	1,854
非連結子会社株式の取得による支出	△975	—
貸付けによる支出	△939	△1,806
貸付金の回収による収入	0	1,391
その他	3	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,816	△6,288

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,353	4,092
長期借入れによる収入	5,350	5,426
長期借入金の返済による支出	△7,151	△7,009
社債の償還による支出	△540	△340
自己株式の取得による支出	△2	△451
配当金の支払額	△1,086	△1,081
非支配株主への配当金の支払額	△75	△47
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△97
その他	△28	△334
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,180	157
現金及び現金同等物に係る換算差額	△439	△105
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,323	△5,046
現金及び現金同等物の期首残高	16,149	14,312
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	486	—
現金及び現金同等物の期末残高	14,312	9,266

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

### 1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、主に香料を製造・販売しており、提出会社、国内子会社、在外子会社はそれぞれ独立した経営単位であり、取り扱う製品について各会社において戦略を立案し、事業活動を展開しております。

各会社を報告セグメントとした場合、非常に多数の報告セグメントが開示されることとなるため、経済的特徴や製品及びサービスの内容等を鑑み、当社は、地域別に「日本」「米州」「欧州」及び「アジア」の4つを報告セグメントとしております。各報告セグメントでは、香料事業の製造・販売を主な事業内容として、さらに各事業に関連する研究及び不動産賃貸、その他の活動を展開しております。

### 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されているセグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

## 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自2018年4月1日至2019年3月31日)

(単位:百万円)

	日本	米州	欧州	アジア	計	調整額 (注)1	連結財務諸 表計上額 (注)2
売上高							
外部顧客への売上高	67,694	32,895	25,453	24,473	150,516	—	150,516
セグメント間の内部売上高又は振替高	13,278	419	3,212	295	17,205	△17,205	—
計	80,972	33,314	28,665	24,768	167,722	△17,205	150,516
セグメント利益又は損失(△)	2,549	△94	1,679	1,405	5,539	298	5,837
セグメント資産	121,862	21,877	28,177	27,030	198,947	△12,733	186,214
その他の項目							
減価償却費	3,409	830	963	992	6,196	—	6,196
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	2,485	413	1,096	518	4,514	—	4,514

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失(△)の調整額298百万円には、セグメント間取引に係る内部損益取引の調整額247百万円、セグメント間取引に係るたな卸資産の調整額50百万円、及びその他0百万円が含まれております。

(2) セグメント資産の調整額△12,733百万円には、セグメント間取引に係る内部取引の調整額△12,106百万円、セグメント間取引に係るたな卸資産の調整額△822百万円、及びその他195百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自2019年4月1日至2020年3月31日)

(単位:百万円)

	日本	米州	欧州	アジア	計	調整額 (注)1	連結財務諸 表計上額 (注)2
売上高							
外部顧客への売上高	68,916	32,705	25,319	25,513	152,455	—	152,455
セグメント間の内部売上高又は振替高	11,412	436	2,998	361	15,208	△15,208	—
計	80,329	33,141	28,317	25,874	167,663	△15,208	152,455
セグメント利益又は損失(△)	△22	364	913	1,363	2,618	42	2,660
セグメント資産	114,749	22,788	30,688	27,975	196,202	△13,373	182,829
その他の項目							
減価償却費	3,607	667	1,186	1,034	6,495	—	6,495
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	3,574	416	1,329	2,531	7,852	—	7,852

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失(△)の調整額42百万円には、セグメント間取引に係る内部損益取引の調整額274百万円、セグメント間取引に係るたな卸資産の調整額△232百万円、及びその他△0百万円が含まれております。

(2) セグメント資産の調整額△13,373百万円には、セグメント間取引に係る内部取引の調整額△12,586百万円、セグメント間取引に係るたな卸資産の調整額△1,043百万円、及びその他256百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	4,859円83銭	4,768円14銭
1株当たり当期純利益	241円67銭	173円49銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	4,772	3,408
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	4,772	3,408
普通株式の期中平均株式数 (千株)	19,746	19,646

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度末 (2019年3月31日)	当連結会計年度末 (2020年3月31日)
純資産の部の合計額 (百万円)	97,396	94,775
純資産の部の合計額から控除する金額 (百万円)	1,419	1,299
(うち非支配株主持分 (百万円))	(1,419)	(1,299)
普通株式に係る期末の純資産額 (百万円)	95,977	93,476
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数 (千株)	19,749	19,604

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。



4. その他

役員の変動

【取締役】 (2020年6月24日付予定)

- (1) 退任  
笠松 弘典 (現 取締役常務執行役員)

【監査役】 (2020年6月24日付予定)

- (1) 新任  
小野 哲
- (2) 退任  
大西 一清

【執行役員】 (2020年6月24日付予定)

- (1) 新任  
執行役員 平田 裕康
- (2) 退任  
常務執行役員 笠松 弘典